

# Economic Trends

発表日：2023年5月26日（金）

## 都区部版・日銀基調的インフレ率の試算（2023/5）

～基調的インフレ率はなお加速傾向にある～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 星野 卓也（TEL：050-5474-7497）

（要旨）

○本日公表された5月都区部CPIを用いて、日銀が全国CPIをもとに公表している刈込平均値・加重中央値・最頻値を試算した。刈込平均値は横ばい、加重中央値や最頻値の上昇率は加速。エネルギーの上昇率縮小で総合指数やコア指数（生鮮食品除く）の上昇率は縮小したが、物価上昇の裾野は広がっている。

### ○5月も基調的インフレ率は加速方向

以前のレポート<sup>1</sup>で試算した東京都都区部版の基調的インフレ率3指標について、本日公表の5月都区部CPIを用いて計算した。刈込平均値（全国ウェイト換算）は4月：+3.0%→5月：+3.0%、加重中央値（全国ウェイト換算）は4月：+0.8%→5月：+1.1%、最頻値は4月：+3.5%→5月：+3.8%となった（いずれも前年比）。総合指数（4月：+3.5%→5月：+3.2%）やコア指数（4月：+3.5%→5月：+3.2%）の上昇率は縮小したが、物価上昇の裾野の広がりから筆者試算値の上昇率は加速する方向にある。

植田日銀総裁は先行きのインフレ率は鈍化する見込みである点から、経済好循環実現のために緩和を継続する姿勢を示している。一方で、基調的なインフレ率、GDPギャップ・賃金・インフレ期待などを重視する姿勢を示しつつ、「見通しの修正が必要になれば速やかに行動したい」とも述べている（5/25のインタビュー）。基調的物価上昇率の加速を受けて政策修正に傾くリスクに目配せが必要な状況と考えられる。

### 資料1. 試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国CPI基調インフレ率（前年比・%）

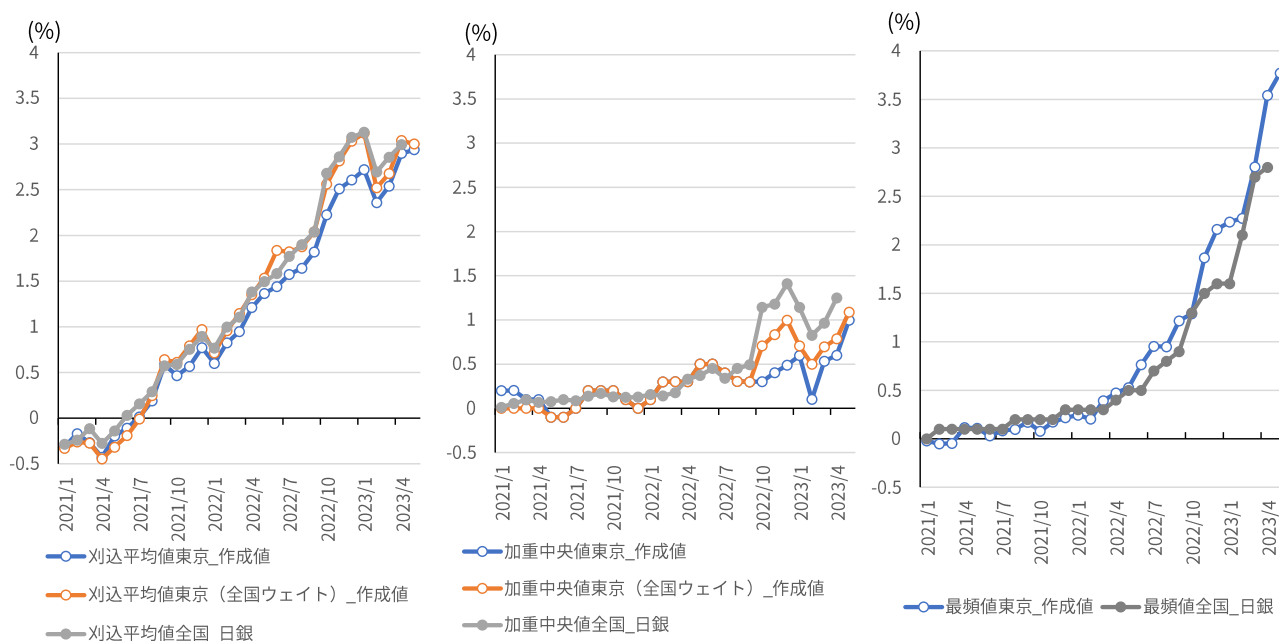
	刈込平均値 東京	刈込平均値 東京_全国 ウェイト	刈込平均値 全国	加重中央値 東京	加重中央値 東京_全国 ウェイト	加重中央値 全国	最頻値東京	最頻値全国
	筆者作成	筆者作成	日銀公表値	筆者作成	筆者作成	日銀公表値	筆者作成	日銀公表値
2023年1月	2.7	3.1	3.1	0.6	0.7	1.1	2.2	1.6
2023年2月	2.4	2.5	2.7	0.1	0.5	0.8	2.3	2.1
2023年3月	2.5	2.7	2.9	0.5	0.7	1.0	2.8	2.7
2023年4月	2.9	3.0	3.0	0.6	0.8	1.2	3.5	2.8
2023年5月	2.9	3.0		1.0	1.1		3.8	

（注）日銀公表値に倣う形で、以下で各値を求めている。刈込平均値：価格品目別上昇率分布の上下10%（ウェイトベース）を除去して前年比を算出、加重中央値：価格品目別上昇率分布における50%近傍の値の前年比（ウェイトベース）、最頻値：各品目別の価格上昇率分布から最尤法でパラメトリックに分布を推定（正規逆ガウス分布）。得られた分布の最頻値。日銀は一部品目・影響の除去を行っているが本試算では行っていない等、一部手法に異なる点がある点に留意。

（出所）総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

<sup>1</sup> [Economic Trends「東京都都区部版・日銀基調的インフレ率の試算」](#)（2023年5月1日）

資料2. 試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国 CPI 基調インフレ率（前年比・％）



(注) 資料1に同じ。

(出所) 総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

(参考文献)

川本・中浜・法眼 (2015) 「消費者物価コア指標とその特性 - 景気変動との関係を中心に -」日銀レビュー・シリーズ、15-J-11

白塚 (2015) 「消費者物価コア指標のパフォーマンスについて」日銀レビュー・シリーズ、15-J-12

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

